令和7年６月吉日

**2024年度こどもL.E.C.センター事業報告**

児童心理治療施設

こどもL.E.C.センター

施設長　松本　祐一郎

新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素よりこどもL.E.C.センターの活動に温かいご支援とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

2024年度も「よりよく生きたいという希望を育てる」という当センターの治療理念のもと、児童心理治療施設として、多くの子ども達の心のケアと成長支援に取り組んでまいりました。おかげさまで、職員一同が一丸となって専門性の向上や体制の強化に努め、子ども達一人ひとりに寄り添った支援を展開することができました。

本年度は新たに8名の職員を迎え、看護師の常勤化を進めるなど、より充実した支援体制を構築しました。また、熊本県からの協力を得ながらさらなる専門的な治療環境の充実を図っております。月ごとの入所児童児童数はは平均32.8名、通所児童は7.8名と多くの子ども達が当センターの支援を受けています。

児童虐待等の児童の心をめぐる様々な問題は依然として厳しく、当センターでは職員の研修や意識向上に努め、質の向上に全力を挙げてまいりました。難しい環境にある子ども達の心の安全を守り、彼らが自信を持って生きていけるよう支援を続けております。

こうした活動が実現できるのは、ひとえに皆様からの温かいご寄付とご支援のおかげでございます。いただいたご厚志は、子ども達の生活環境の改善や職員育成、施設運営の充実に大切に使わせていただいております。皆様のご支援が子ども達の未来を支える大きな力となっておりますことを、心より感謝申し上げます。

今後とも、こどもL.E.C.センターは子ども達の心の安らぎと成長を最優先に、社会に開かれた信頼される施設として努力を続けてまいります。引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

**1. 基本理念・方針**

* 「よりよく生きたいという希望を育てる」を理念に、子ども・保護者・職員の成長と信頼関係構築を重視しました。
* 年間を通じた理念共有・中間評価を実施して質の高い支援を目指しています。
* 子どもが安心して支援を受けられる「総合環境療法」を基盤とし、チーム支援体制を強化しました。

**2. 入所・通所状況**

* **入所部門**：平均入所32.8人。新規入所9名、退所5名。入所依頼は熊本県中央児相、八代児童相談所、熊本市児童相談所だけでなく県外の児童相談所からの打診が来ている。
* **通所部門**：平均7.8人。新規通所1名、措置解除3名。支援ニーズはあるが通所部門の認知度向上が課題。

**3. 支援内容と成果**

* 児童精神科と連携しながら様々な課題を持っている重篤なケースへの対応が続く。
* 中高生の進路支援も実施しました。こどもの希望に沿った大学・就労・グループホーム等多様な進路選択を支援することができました。
* 保護者には定期的な面接を実施し、信頼関係の構築を行いながら支援を考えました。

**4. 職員体制**

* 職員数常勤38名・非常勤18名。8名の正職員新規採用。
* 外部スーパーバイザーによる研修・OJT体制で質の向上を行っています。

**5. 関係機関連携**

* 熊本県・益城町・児童相談所と連携を強化。
* 益城町立広安西小学校・益城町立益城中学校分教室と連携し、学習・行動支援を展開しました。
* 児童精神科病院とは緊密な連携で緊急入院対応等も実施しました

**6. 事業目標の達成状況（短期計画）**

* **自立支援の充実**：民間アパートでの自立訓練を開始。
* **地域支援**：町と協働した子ども食堂や相談会を継続。
* **子ども意見反映**：意見箱だけでなく、今後は「こども会（仮）」設置を検討。
* **ICT・情報発信（**：Instagramでの発信開始。ホームページ刷新は次年度以降に課題。
* **働き方改革**：職員の休憩時間確保や振り返り導入。さらに働きやす職場へ

**7. その他**

* **分園型グループホーム**：2025年度開設予定。
* **予算状況**：赤字決算だが、将来加算拡充により安定化を期待。
* **ICT補助金活用**：PC更新と業務効率化を実現。

以上